

はじめに

平成19年4月、県立の8技術センターを統合して広島県立総合技術研究所が発足いたしました。

その目指すところは、県民や県内産業に対する貢献度の高い、スリムで効率的な試験研究機関でございませう。

昨今、グローバル化の進展とともに、海外から安価な製品が多く流入するようになり、工業、農林水産業を問わず、日本の産業全体に大きな影響を及ぼしています。こうした状況にあつて、県内産業に貢献する技術とは、他所では簡単には真似のできない技術、すなわち世界に通用する技術であると考えています。

本研究所は、保健環境、工業、農林水産業と幅広い領域の技術を有しています。この強みを活かして異分野技術の連携・融合を進め、世界に通用する技術を目標に、研究開発に総力を挙げて取り組んでおります。

このたび、研究所として最初の成果集をとりまとめました。最近の研究成果の中から、特に有用と思われる16成果を個別にご紹介いたします。また、県有知的財産権一覧等も掲載いたしました。

本成果集や研究所に対するご意見・ご提言等をいただければ幸いです。

最後に、これらの成果情報を県民や県内産業の皆様に広く知っていただき、また、ご活用いただくことで、お役に立てることを心より願っております。

平成20年3月

広島県立総合技術研究所

所長 節家 孝志